



KSKQ

萌風香

2019 年度 夏号

誰もが生き活きと
自分らしく暮らせる
心豊かな社会を
創造します。

社会福祉法人萌 広報紙 NO.65. 2019.7.24 編集人 社会福祉法人萌 定価 150 円

〒630-0256 奈良県生駒市本町 7-14 ブルームビル2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

～就職戦線真っ只中！ 知ってください、 わたしたちの仕事～

人材開発センターの取り組み

社会福祉法人萌の将来を担う人材の「採用」「開発・開拓」「定着」についての業務を行う人材開発センター。就職活動が盛んになる春先から人材獲得に向け、精神保健福祉業界を目指す方々に対し、広報活動を行なっています。

◆萌 就職説明会

「採用」の入り口は、萌就職見学説明会です。毎回、人材開発センターの大東センター長の案内で生駒エリアの事業所を回ります。はななでは、メンバーに作業内容の説明と事業所内の案内してもらいました。はななが終わって次はブルームビル。地域活動支援センターコスモールいこまのメンバーから体験談を聞き、活動紹介、職員の業務内容の説明を受けました。その後、ひだまりの見学へ。パン工房も忘れずに。



見学後は若手職員との意見交換会です。見学者からは「配属先の希望はきいてもらえますか？」「残業はどの程度ありますか？」などリアルな職

場環境の質問も挙がっていました。短い時間でしたが、萌の職場の雰囲気を感じてもらえる機会となりました。

◆京都医健専門学校 業務説明会

人材開発センターでは、こちらから出向いて萌の魅力をPRし、一緒に働く仲間を探していくことにも取り組んでいます。今回は京都にある「京都医健専門学校」にて、精神保健福祉士や社会福祉士の資格取得を目指す学生の皆さんに萌の仕事内容の紹介を行いました。



まだまだ萌の知名度は低く、成り立ちから事業内容まで丁寧に説明が必要です。その後に実際の現場で働いている入職 5 年目の職員が、業務について体験談を交えながら、仕事の楽しさや難しさを織り交ぜながら説明をします。当日は合計で約 30 名の参加があり、そのうち 3 名の方から職場見学の申し込みがありました。

萌の今後さらなる発展のためにも、様々な場所を開拓していき、仲間が増えることを期待しながら地道に活動を続けていきます。

四徒 季然

社会福祉法人萌
理事長 吉川郁子

先月、大阪府で警察官が襲撃され拳銃を奪われるという事件が起こりました。怪我をした警察官の方の一日も早い回復をお祈りします。

事件の翌日から容疑者は精神疾患があるという報道がされ、精神障害者は危険だという印象を残しました。この事件に限らず「加害者に精神科の通院歴がある」と聞くと、事件の真相に関わらず、精神疾患と犯罪の結びつきを連想してしまいます。ですが、刑法犯の全検挙者のうち精神障害者は 1%に満たず、精神障害者が罪を犯しやすいというのは誤解であることがわかります。

殆どの障害者が犯罪とは関係のない暮らしを送っていますが、この誤解のために生きづらさを強いられます。偏った報道のあり方は見直されるべきではないでしょうか。

生 駒 エ リ ア

生活支援センターコスモールいこま	0743-73-7000	地域活動支援センターコスモールいこま	0743-73-0900
ひだまり	0743-85-4196	コミュニティスペースはなな	0743-73-1050

まさかの優勝！！

生駒市障害福祉ネットワーク(I-Net)主催の第4回スポーツ大会が6月15日(土)に開催されました。今回は当事者と支援者がボッチャを通じて、スポーツの楽しさを一緒に体験し、お互いの障害に対する理解を深め、障害種別を超えた交流を行うことを目的に企画されました。今回のボッチャのルールは5球6球を交互に投げ合い、的に近いチームの勝利です。萌〜ずとして合同チームで参加し、17チームがエントリーする中、順調に勝ち進み結果は見事“優勝”でした。途中で逆転されたり、1投ごとに最後まで勝敗が分からず接戦となる試合ばかりでした。



ねらいを定めて・・・。白いボールにより近く

今回初優勝できて「まさか優勝できるとは！」「投げるとき、緊張したー」と優勝できたことを喜び合いました。

※I-Net とは生駒市内の障害者・児が利用する福祉サービス事業所 11 団体が加盟する任意団体です。職員の交流や学習を通じて、つながりの見える地域連携を進めています。

TV取材がやってきた！

「TVの取材を受けてもらうことができますか？」ある日商工会議所から一本の電話。パン工房ひだまりでは生駒市アンテナショップおちやせんでラスクを販売しています。商品をみたTV関係者から販売店を取材したいとのお話でした。

後日メンバーミーティングにて

(スタッフ：⊗、メンバー：⊗)

- ⊗「今度TV取材が決まりました」
- ⊗「すごいね！誰がきます？」
- ⊗「えっと、みやがわだいすけさんです」
- ⊗「えー！！！」
- ⊗「あっ違います。宮川大助花子の大助さんです。あと学天即がきます。」
- ⊗「おお～」
- ⊗「いつどこでみれますの？」
- ⊗「来月ですが、三重のケーブルTVなんでこの辺は映らないです」
- ⊗「どっひゃあ～」



サインはお店に飾っています

当日はみんなでドキドキ、ワクワク。大緊張のなか撮影も無事に終わりました。放送されたDVDを送ってもらえることになりみんなで見るのを楽しみにしています。一つの商品をきっかけにTV取材がくることになりつながりを感じた出来事でした。

ライク通信

なら西和障害者就業・生活支援センターライク 0743-85-7702

支援記録を書く上で大切なこと・・・

ライクでは、支援の中で感じるひっかかりを職員同士で協議し、共通認識をもつための「業務指針検討会」という場があります。今回は支援記録の書き方について共通認識を図りました。ノウハウの前に大切にすべき視点があること、そして『良い記録』を心がけることが、『良い支援』につながることを確認し合い、自分たちの実践を見直す機会になりました。

郡山エリア

生活支援わーふらっと	0743-54-8112	地域活動支援わーふらっと	0743-54-3977
ふれあい工房	0743-54-6701	彩食キッチンBon	0743-58-5572
Bon Café	0743-55-7772		

BonCafe Bonと共に

「就労移行支援事業」を行ってきたBonCafeが2019年春、彩食キッチンBonと合併し、「就労継続支援B型事業所」として新たな活動を始めました。

2年(最長3年)の期間内に一般就労を目指す「就労移行」は就職への意識が高い一方、「働くための訓練」「有期限」といった事業の特徴が障害特性に合いづらく、利用者の減少が続いていました。

彩食キッチンBonと一緒に活動することで、プログラムの選択肢が増えました。当事者活動や余暇活動など日常生活の豊かさにつながるプログラムにも参加が可能となりました。

自分のペースで自分のやりたいことに取り組むことができ、相互の利用が少しずつ進んでいます。

ハローワークへの同行や職場訪問などの一般就労への支援は継続して行っています。「動物が好きなので、そんな仕事に就きたい」夢の実現に取り組んでいます。

美味しく作るぞめの焼きそば



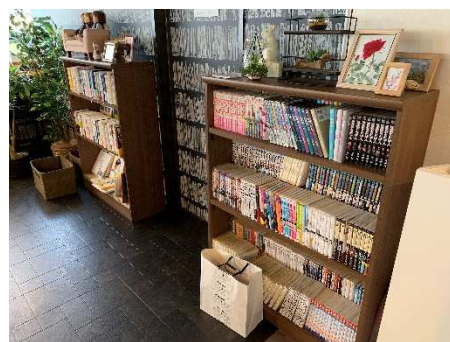
また、「メンバー同士で交流しよう」と企画したのが「合同BBQ交流会」。活動拠点の違った利用者12人が美味しいお肉を食べるために一致団結!「もう食べられへん」楽しくて満腹の時間はあっという間に過ぎていきました。

「点と点」をつなぐヒント
地域に長く続く居場所づくり

近鉄郡山駅から歩いて3分の所に「カフェシエスタ」があります。

お洒落な店内で健康講座や地域住民が気軽に参加でき

る音楽ライブなどのイベントを不定期に行なっています。薬剤師、介護支援専門員、社会福祉士の有資格者であり経営者の上野和夫さんにお話を伺いました。



話題の本がいっぱい!

——なぜカフェの経営を?

地域の居場所作りがしたくて

——居場所づくりのきっかけは?

街に出てこない人が楽しいことをすれば出てくるのではないかと考えたこと

——他にはどんな活動を?

近隣のカフェとイベントをまとめたフリーペーパーや健康に関する情報誌を作っている

——今後の展望は?

情報を取りまとめて発信し地域が盛り上がるきっかけを作りたい

「“楽しい”をキーワードにしたい」と現在の活動や目標をにこやかに話す上野さん。地域の情報や資源をつなげる役割は私たちの活動にもつながります。



中央が上野さん

西和エリア

生活支援わーぽると・ベル	0745-43-5541	地域活動支援わーまーぶる	0745-75-6545
らそら	0745-70-1577		

ケアマネジャー対象に精神障害について講演

平群町包括支援センター主催で2019年6月18日に第一回平群町介護支援専門員勉強会が行われました。「障害者総合支援法と精神障害の特徴と支援のポイント」というテーマで、ぽると・ベルの永石淳哉所長が講演しました。内容は、総合支援法と介護保険の違いや、精神障害の特徴、サービス利用計画作成の際のポイントなどの話がありました。

参加した13人のケアマネジャーからは、「日常業務で精神障害の方と関わる機会が増えてきている。詳細が聞けて知識の幅が広がった」「知っているようでよくわかっていない分野だったので、とても勉強になった」など感想がありました。

西和ふれあい祭りを今年も開催

地元の人とまちを一緒に盛り上げていきたいという思いを大切に「たくさんの方に祭りを楽しんでもらいたい!こどもも楽しめるイベントにしよう」と開催している「西和ふれあい祭り」。今年で9回目となる祭りは8月31日に斑鳩町中央公民館で行います。

イベントの目玉は3つ!!①西和7町内の地元飲食店による出店②学校の部活動や高齢者施設での出演などへも積極的に活動している方々の出演③消防車や住民さん手作りのジオ

ラマの展示、あてものやスマートボールで子どもが遊べるキッズスペースがあります。

このように西和ふれあい祭りでは萌の施設だけでなく、7町の住民や、商店の協力があることで開催できています。斑鳩町を中心とする西和のまちが味わえるようなイベントになっていますので是非とも、みなさん遊びに来てください。

西和ふれあい祭り 第9回

2019年 8月31日(土) 10:00~14:00

会場: 斑鳩町中央公民館

主催: 社会福祉法人 萌 / 西和ふれあい祭り実行委員会

後援: 斑鳩町・平群町・三郷町・安堵町・上牧町・王寺町・河合町(予定)

お問い合わせ先: 社会福祉法人 萌 / 地域活動支援センター まーぶる
Tel: 0745-75-6545 Fax: 0745-43-6800

社会福祉法人 萌 は、精神障害者の当事者、およびご家族の方々の支援を通して、社会が生き生きと自分らしく暮らせる心豊かな社会を創造することを理念として活動しています。

グループホーム

<楽都 もえぎ館 みらい館 彩友館 メゾン高田 榎ノ木ハウス>グループホーム事務所 0743-85-4112

「暴力防止」・「虐待防止」をテーマに 第4回 非常勤職員(家事サポーター)研修

グループホームで調理・掃除等の支援を行っている家事サポーター向けの学習会を4月25日に行いました。学習会のテーマは「暴力防止」「虐待防止」です。

支援に入る中で暴言・暴力を受けたり、虐待をしてしまう可能性は誰にでも起こりえます。一人で支援に入ることの多い家事サポーターが抱え込んでしまうことのないよう、「個人の課題ではないという認識をもつ」「気になることや不安を感じた時には相談する」「(場合によっては)常勤職員と二人で支援に入るようにする」等、入居者と支援者のお互いが傷つかないようにするために大切なことを確認し合いました。

社会福祉法人 萌 2018年度決算報告

【2018年度の状況】

年度当初より、障害福祉サービス報酬改定による減収を見込んでいました。結果、前年度とくらべ1,000万円弱の減収となりました。支出(費用)については、老朽化によるエアコンやパソコンの買い替え、建物の修繕が複数ありました。しかし、経費削減に向け、電話やインターネットなどの通信費、リース車両などの賃借料の見直しを行ない、事業費、事務費、就労支援事業費用の合計は前年度とほぼ変わらない数値となりました。

経常収支増減差額は4,117万円、経常収支増減差額率6.3%となり、前年度と比べ減収減益ではありますが、当初の見込みより良い結果となりました。また、当期末支払資金残高を事業活動支出の3ヶ月分程度を担保できているため、大規模災害等による一時的な収入減少が起きても、法人運営を継続できる経営状態となっています。

【将来展望】

ここ数ヶ月、国内外問わず地震が発生しています。想定されている南海トラフ地震に備えるべく、災害時の対応、体制を築く必要があります。まずは数年前に設置した防災備品の見直し、未設置場所への設置を進めていく予定です。

また、国による防災情報(警戒レベル)の表記が変更されており、地震以外の災害に備えても利用者、職員の安全確保を優先とした判断基準を見直していきます。

我が事丸ごと共生社会の実現、働き方改革、消費税軽減税率の導入など、国の施策により法人運営にも大きな影響が見込まれます。“今まで通り”は通用せず、これまでの“当たり前”を見直していく必要があります。国の施策動向、社会情勢を読みながら、活用できる資源を使い、支援力の強化、職員の処遇改善を図っていきます。

※ 当法人のホームページにも過年度の決算報告を含めて掲載しています。

法人単位 貸借対照表

2019年03月31日現在

(単位 円)

借 方				貸 方			
勘定科目	当年度末	前年度末	増 減	勘定科目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	197,696,101	174,549,138	23,146,963	流動負債	57,681,954	68,864,366	▲ 11,182,412
現金預金	85,802,842	57,596,133	28,206,709	買掛金	1,800,605	1,355,017	445,588
前払金	1,651,360	1,590,370	60,990	未払金	27,853,812	40,443,962	▲ 12,590,150
貯蔵品	1,486,406	1,693,029	▲ 206,623	1年以内返済予定 施設整備資金借入金	7,960,000	7,960,000	0
出資金・仮払金	170,000	50,000	120,000	預り金	20,067,537	19,105,387	962,150
未収金(国保連)	62,683,556	67,121,942	▲ 4,438,386	固定負債	39,995,000	47,955,000	▲ 7,960,000
未収金(利用者負担金)	294,409	235,872	58,537	施設整備資金借入金	39,995,000	47,955,000	▲ 7,960,000
未収金(補助金)	39,958,449	40,601,448	▲ 642,999	負債の部合計	97,676,954	116,819,366	▲ 19,142,412
未収金(他)	3,495,881	3,685,276	▲ 189,395				
売掛金	2,153,198	1,975,068	178,130				
固定資産	611,922,509	615,497,954	▲ 3,575,445				
基本財産	384,076,851	395,694,514	▲ 11,617,663	基本金	34,289,196	34,289,196	0
土地	171,379,216	171,379,216	0	基本金	34,289,196	34,289,196	0
建物	212,697,635	224,315,298	▲ 11,617,663	国庫補助金等特別積立金	78,066,779	82,832,253	▲ 4,765,474
その他の固定資産	227,845,658	219,803,440	8,042,218	国庫補助金等特別積立金	78,066,779	82,832,253	▲ 4,765,474
構築物	64,008,820	71,207,317	▲ 7,198,497	その他の積立金	137,786,300	129,577,400	8,208,900
車両運搬具	5,847,646	4,165,018	1,682,628	役員退職金積立金	0	1,000,000	▲ 1,000,000
器具及び備品	9,473,504	8,047,585	1,425,919	建物減価償却積立金	89,000,000	77,000,000	12,000,000
権利	1,340,388	1,521,120	▲ 180,732	施設・設備整備積立金	48,786,300	51,577,400	▲ 2,791,100
建設仮勘定	9,389,000	5,285,000	4,104,000	次期繰越活動収支差額	461,799,381	426,528,877	35,270,504
役員退職金積立預金	0	1,000,000	▲ 1,000,000	次期繰越活動収支差額	461,799,381	426,528,877	35,270,504
建物減価償却積立預金	89,000,000	77,000,000	12,000,000	(うち当期活動収支差額)	43,479,404	50,225,119	▲ 6,745,715
施設・設備整備積立預金	48,786,300	51,577,400	▲ 2,791,100	純資産の部合計	711,941,656	673,227,726	38,713,930
資産の部合計	809,618,610	790,047,092	19,571,518	負債及び純資産の部合計	809,618,610	790,047,092	19,571,518

法人単位 資金収支計算書

(自)2018年04月01日

(至)2019年03月31日

勘定科目			予算	決算	差異
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	381,253,000	377,786,457	▲ 3,466,543
		就労支援事業収入	95,646,000	93,835,836	▲ 1,810,164
		経常経費補助金収入	154,864,000	154,721,700	▲ 142,300
		事業収入	24,840,000	25,545,524	705,524
		寄附金収入	1,710,000	1,111,000	▲ 599,000
		受取利息配当金収入	142,000	196,082	54,082
		雑収入	1,819,000	3,603,692	1,784,692
	事業活動収入計(1)		660,274,000	656,800,291	▲ 3,473,709
	支出	人件費支出	441,353,000	433,733,009	▲ 7,619,991
		事業費支出	56,030,000	46,560,393	▲ 9,469,607
		事務費支出	26,735,000	26,741,912	6,912
		就労支援事業支出	74,759,000	90,915,402	16,156,402
		支払利息支出	347,000	347,920	920
事業活動支出計(2)		599,224,000	598,298,636	▲ 925,364	
事業活動資金収支差額(3)=(1)―(2)		61,050,000	58,501,655	▲ 2,548,345	
に施設整備等	収入	施設整備等補助金収入	1,250,000	2,178,000	928,000
		固定資産売却収入	0	24,900	24,900
		施設整備等収入計(4)	1,250,000	2,202,900	952,900
	支出	施設整備資金借入金元金償還支出	7,960,000	7,960,000	0
		固定資産取得支出	6,413,000	10,206,280	3,793,280
		施設整備等支出計(5)	14,373,000	18,166,280	3,793,280
施設整備等資金収支差額(6)=(4)―(5)		▲ 13,123,000	▲ 15,963,380	▲ 2,840,380	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	4,800,000	6,791,100	1,991,100
		その他の収入	0	0	0
		その他の活動収入計(7)	4,800,000	6,791,100	1,991,100
	支出	積立資産支出	11,000,000	15,000,000	4,000,000
		その他の支出	0	0	0
		その他の活動支出計(8)	11,000,000	15,000,000	4,000,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)―(8)		▲ 6,200,000	▲ 8,208,900	▲ 2,008,900
	予備費支出(10)		3,000,000	0	▲ 3,000,000
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		38,727,000	34,329,375	▲ 4,397,625
	前期末支払資金残高(12)		113,644,772	113,644,772	0
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)		152,371,772	147,974,147	▲ 4,397,625	

法人単位 事業活動収支計算書

(自)2018年04月01日

(至)2019年03月31日

(単位 円)

勘定科目			本年度決算	前年度決算	増 減
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	377,786,457	387,760,394	▲ 9,973,937
		就労支援事業収益	93,835,836	96,443,342	▲ 2,607,506
		経常経費補助金収益	154,721,700	154,864,700	▲ 143,000
		事業収益	25,545,524	23,786,452	1,759,072
		寄附金収益	1,111,000	918,160	192,840
		雑収益	3,603,692	5,606,521	▲ 2,002,829
	サービス活動収益計(1)		656,604,209	669,379,569	▲ 12,775,360
	費用	人件費	433,733,009	439,435,190	▲ 5,702,181
		事業費	46,560,393	36,613,097	9,947,296
		事務費	26,741,912	30,142,610	▲ 3,400,698
		就労支援事業費用	90,915,402	97,219,695	▲ 6,304,293
		減価償却費	24,267,022	24,715,620	▲ 448,598
		国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 6,943,471	▲ 7,490,336	546,865
	サービス活動費用計(2)		615,274,267	620,635,876	▲ 5,361,609
サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)		41,329,942	48,743,693	▲ 7,413,751	
増減の部	収益	受取利息配当金収益	196,082	177,388	18,694
		サービス活動外収益計(4)	196,082	177,388	18,694
	費用	支払利息	347,920	406,258	▲ 58,338
		サービス活動外費用計(5)	347,920	406,258	▲ 58,338
	サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)		▲ 151,838	▲ 228,870	77,032
経常増減差額(7) = (3) + (6)		41,178,104	48,514,823	▲ 7,336,719	
特別増減の部	収益	固定資産受贈額	2,301,297	0	2,301,297
		施設整備等補助金収益	2,178,000	120,000	2,058,000
		その他の収益	0	2,500,000	▲ 2,500,000
		特別収益計(8)	4,479,297	2,620,000	1,859,297
	費用	国庫補助金等特別積立金積立額	2,178,000	120,000	2,058,000
		固定資産除却額	▲ 3	4	▲ 7
		その他の費用額	0	789,700	▲ 789,700
		特別費用計(9)	2,177,997	909,704	1,268,293
	特別増減差額(10) = (8) - (9)		2,301,300	1,710,296	591,004
	当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		43,479,404	50,225,119	▲ 6,745,715
繰越活動増減の部	前期繰越活動増減差額(12)		426,528,877	393,981,158	32,547,719
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		470,008,281	444,206,277	25,802,004
	積立金取崩額・基本金取崩額		6,791,100	4,322,600	2,468,500
	積立金取崩額(14)		6,791,100	4,322,600	2,468,500
	積立金積立額・基本金組入額		15,000,000	22,000,000	▲ 7,000,000
	積立金積立額(15)		15,000,000	22,000,000	▲ 7,000,000
	次期繰越活動増減差額(16) = (13) + (14) - (15)		461,799,381	426,528,877	35,270,504

高 田 エ リ ア			
生活支援センターなっつ	0745-23-7214	地域活動支援センターなっつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072	おかわり	0745-23-5625
えいふる	0745-52-5752	あっとほーむ香芝	0745-44-8023

『つながる』ことは。。

～だからおもしろいんや～

6月 17 日、島山孝夫エリア部長を囲んで、座談会を開催しました。メンバーはこの 4 月にエリア内で異動した寒川静佳さん（地域活動支援センターなっつ）久保田マリ子さん（マインドホーム高田）生駒エリアから異動になった前田裕也さん（生活支援センターなっつ）新任の清水紘一さん（おかわり）の 4 人です。高田エリアに配属され、今感じていることを出しました。

その中で出てきたキーワード、それは『つながる』です。

なっつ相談室で行いました



清水：おかわりでは、一人暮らしのお年寄りにお弁当配達をしているとき、メンバーが話しかけているのを見て、地域の人とふらっとな関係になっていると感じた。入职した頃は、メンバーのことがわからなかったけど、最近は共通の話題・会話ができるようになってきた。

久保田：初めて配属されたエリアが高田エリアでよかった。地域と繋がろうという意識・文化があるエリアだと思った。それと職員同士も。一つ上の先輩が準備であいさつ回りに連れて行ってくれた。まちフェスは地

域の人に支えてもらっている感がある。こちらの意図が伝わり、友達の友達を紹介してくれて、輪が広がっているのがやっていて楽しい。

前田：相談支援事業所の担当になって、一人ではこの仕事は続けられないと感じた。



みんなの思いはひとつ

仕事でうまくいかなかった時、帰宅後も悩んでしまう。元気をもらうために自分もつながりを求めているんだなって。こんなモチベーションの保ち方もあるんだと思った。

寒川：まちフェスには最初から参加していたが、コンセプト作りに力を入れた。今も会議の時に目的の確認は必ずやっている。だから、目的がブレない。一緒にやってくれるメンバーもいる。顔も知らないと他人事・無関心になりがちだけど、知る人となると、付き合うハードルが下がる。

出し合った内容をまとめると、以下のことになります。

『つながる』の深さ・広さは経験年数・やっている事業で違うし、手法も違う。作業やイベントはツールとよく言われているが、みんなの経験を聞いて改めてわかった。身近な人とつながっていく経験が元気を生み、さらに広がっている点はとても良いこと。

今回『つながる』ことにみんなが関心のあることがわかった。みんなで仲良くなろう。つながろう。

※まちフェスは高田エリア主催で毎年 2 月に奈良県産業会館で開催しているイベントです。

檀 原 エ リ ア

生活支援センターぴあぽ〜と	0744-24-2020	地域活動支援センターぴあぽ〜と	0744-24-2070
生活支援センターいろは	0744-32-7753	ひなた舎	0744-32-7745
Pitハム	0744-21-5666		

身体が慣れてきました」と、いい感じにスムーズにボールを返せるようになり、表情も和らいできました。

卓球台が来たおかげで、サロンもさらに、活気づき、笑顔といい汗が光るぴあぽ〜とです！

卓球台を頂きました！

今年の春に、近隣の放課後児童クラブより、立派な卓球台を頂きました！国際規格の立派な素敵な卓球台です。



いい汗かいています

ぴあぽ〜とでは、以前から卓球を行っていました。サロンの机に手作りネット(本やビデオを立てて)で、狭い台で、頑張って卓球をしていました。そんな中、救世主のように現れた卓球台に、皆大喜び。

利用者とスタッフで、大雨の中、放課後児童クラブにまで取りに行き、頑張って運びました。卓球が始まり、ラケットを持つと、サーブで、変化球をかけたり、スマッシュをしたり、気持ちはさらに若く？身体を動かしています。久しぶりに卓球をする利用者も、少し緊張しながら、「ずいぶん前にしてたけど、出来るかなー」と挑戦します。

最初は、続かなかったラリーも、「だんだん、

参道沿いが華やかに

先日、参道沿いの花壇の花植えを、利用者と一緒に行いました。

毎年、久米町では、春と秋に県から花を頂き、近隣の方々と花植えをします。色とりどりのベゴニアが10株あり、みんなで色合いの順番を考えながら、丁寧に植えました。

「この白いベゴニアは、このあたりがいいかなあ」と、和気あいあいと楽しく話しながら、植えて、水やりをし、華やかな花壇が完成！！

道行く人に、「きれいですね」と声もかけられ、参道通りもみんなの気持ちも、ぱっと明るくなりました。

これから暑い季節ですが、長く花が咲き続けてくれますように。



花壇を美しく

さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ 0743-54-0800

シリーズ さくらんぼの風景

移動支援って何？ 余暇活動・社会参加のための支援

切符の買い方が分からず一人で電車に乗るのは不安、行ってみたい喫茶店があるけど、人の視線が怖くて行けない…。病気や障害のために一人で外出が困難な時にヘルパーと一緒に外出する「移動支援」というサービスがあります。

「大きな音が怖くて映画館は諦めてたけど、ヘルパーさんとなら安心して楽しめた」と笑顔を見せてくださったり、「ゆっくり近所の散歩をする中で、鳥に詳しい利用者さんの新しい一面を発見した」という声も。ゆったり体験を共有する中で、利用者さんの心もほぐれ、今まで胸にしまわれていた希望を語られる場面に出会えることもあります。

(移動支援は市町村事業の為、利用料や支援内容が居住地によって異なります。)

法人理事・監事が交代しました。

理事会・評議員会が6月22日に開催され、理事6人と監事2人が選任されました。任期は2年になります。退任となった小林秀穂さんには監事として7年9カ月、相川正二郎さんには理事として9年9カ月、萌を支えてくださりありがとうございました。

この度、萌を共に盛り上げていただくことになったお二人にお話を伺いました。



新理事

でぐち ひろき
出口 裕生 さん

社会福祉法人萌
総務部長



新監事

たけうち きよのり
竹内 聖典 さん

社会福祉法人大和郡山育成福祉会
統括施設長

Q. 社会福祉（障害者福祉）に関わろうと思った動機、きっかけを教えてください。

私が中学生の時に祖母がボランティア活動で作業所に行っている姿を見ていたのがはじまりです。高校時代には特別支援学校教諭になる！と意気込んだものの…。現場実習は障害者入所施設に…。

それがこれまでの生活、経験、情報だけでは知り得なかった社会的な課題、問題、持ち得なかった価値観などを経験することになり、これからの自分の方向を決める起点となりました。

お金を稼ぐことが働くと考えていた高校時代。大学時代のボランティア活動で一緒に経験する喜び、困難を乗り越える事のやりがいに取りつかれた。

一つの事にああでもない・こうでもないとひたすら議論をした諸先輩方に導かれた（だまされた？）でも心地がよかった。私やそれぞれの存在を大切にしてくださる仲間がこの分野の皆さんに多かったからだと思います。

Q. 社会福祉（障害者福祉）との関わりを中心に略歴を教えてください。

大学卒業後、知的障害者授産通所施設を運営していた社会福祉法人ちいろば会に入職しました。内職作業やパン製造販売、ヘルパー、グループホーム、相談支援など12年くらいの間に色々な経験をさせていただきました。当時ちいろば会が運営していたなら西和障害者就業・生活支援センターライクに勤務していました。ライクの事業運営が萌に変わり、萌に転職をしています。

30年ほど前に障害児学童にボランティアにいき楽しさを感じ、高齢者や障害者の事業所や作業所にボランティアにいき、たまたま大和郡山のひかり園というところで働き始めました。

児童・高齢・障害等特にこだわりはなく、生活の中で生きづらさの解決や楽しさの追求をしていければと、気づけば25年が経っていました。

Q. これからの萌に対しての思い・意気込みを教えてください。

萌はいろんな思いや経験・体験、それぞれの得手不得手など多くの個性が集まっている場所だと感じています。

それぞれの歯車がうまくかみ合えば、何か大きなものも動かせる、そんな期待感や可能性があります。また大きな一歩を踏み出せるよう、歯車をつなぎ合わせていくことに尽力していきます。

これからも7割笑顔、3割しっかり考え行動する。それぞれの幸せ追求をそっと応援していける関わりを続けていくことが自分の大切にしていることです。

萌の理念のもとしっかりと活動されている皆さんに私にできることを私らしくお手伝いできるように頑張りたいと思います。

★萌風香の購読★

萌風香は年 4 回 1500 部ずつの発行です。皆様のお手元に届いた後、萌の事業所利用者以外の方で「引越して住所が変わった(住所変更)」「次からは送ってもらわなくても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず編集部ひだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願いします。

▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様を募集しております。

主な目的は萌フェスタをはじめとした事業の支援や寄付を行なっています。

会費の納入及び寄付の受付口座は郵便振替 社会福祉法人萌後援会

00920-4-221824

後援会事務局(萌総務部内)

0743-54-0821 (大東)

▽ハートフルこおりやま
精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は1口500円(2口からお願いします)です。

連絡先:会事務局 ふらっと内

0743-54-3977 (桑原)

▽生駒精神障がい者後援会
ひだまりクローバー

生駒市の施設を利用する精神障害者への財政的支援(交通費など)と、啓発活動(トーク&ライブひだまり、こころの市民講座など)をしています。

年会費 一口2000円から。

新規会員募集中!

連絡先:コミュニティスペースはなな内

0743-73-1050 (佐藤)

家族会の情報

詳細は まほろば会 (NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 <https://nijironokaze.jimdo.com/>

名称	月例会	時間	場所	問い合わせ先	電話番号
さくら会 (大和郡山市周辺)	第3日曜日	13:30~	三の丸会館	ふれあい工房	0743-54-6701
ひだまり会 (生駒市周辺)	第3土曜日	13:30~	市民活動推進センター ららポート	会長上村京子 (自宅)	0743-78-0885
西和家族会 (西和7町周辺)	第4土曜日	13:30~	王寺町中央公民館	ぼると・ベル	0745-43-5541
すみれ会 (大和高田市周辺)	第3日曜日	13:30~	大和高田市中央公民館	なつつ	0745-23-7214
のぞみ会 (橿原市周辺)	第2日曜日	13:30~	県心身障害者 福祉センター	びあぽ〜と	0744-24-2020

今年もやるよ! いこまいい街にぎわいフェスタ★~よってらっしゃい!みてらっしゃい!~

今年で4回目を迎えるこのイベントは、地域の皆様に楽しみながらココロの健康や福祉について考えていただくことを目的にしています。

日時:9月1日(日)10時~16時

場所:ベルテラス(生駒駅北側)

雨天時:コミュニティセンター

内容:精神障害がある当事者が盛り上げるステージ企画

文化ホール

- ・ストレスチェックや血圧測定、相談コーナー(こころのサロン)
- ・子ども達が楽しめるキッズスペース(わいわい広場)
- ・地元のお店や福祉事業所の美味しいもの色々(にぎわい市場)

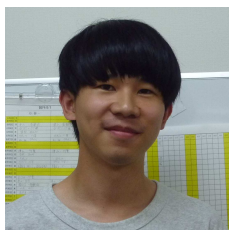
新任者職員紹介

清水 紘一(配属先:おかわり)

初めまして。この度萌の職員として入職いたしました清水紘一(しみずこういち)と申します。

春から奈良に引っ越してきました。

社会人一年目で不慣れなことも多く、失敗も多くすると思いますが、めげずに前向きに取り組んでいけたらと思います。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。



2018年度の活動をまとめました

社会福祉法人萌の2018年度の「事業活動報告書」ができました。

よりわかりやすく伝えられるように、中期計画の動きや各所の活動の様子を写真入りで見やすくまとめました。

お近くの萌の事業所にあります。関係機関の皆さまへはお手元にお届けする予定です。ぜひご覧ください。